

SARS-CoV-2抗原検出用キット活用五か条

- 第一条 発熱等の症状がある患者に使うべし
- 第二条 定められた判定時間は厳守すべし
- 第三条 判定線が不明瞭なら拡大鏡を使うべし
- 第四条 前処置はきっちり実施すべし
- 第五条 検査判定が疑わしい時にはPCR等の核酸増幅検査を追加すべし

偽陽性が発生しやすい条件

- ・適用外の無症状の人に対して抗原検査を実施した
- ・トロミ（粘稠な）が強い検体（鼻汁等）を使用した
- ・定められた時間に判定できず少し過ぎてしまった
- ・うっすらと陽性線が出現している気がしたので陽性の判定をした

偽陽性を回避する上手な対処

- ・発熱等疑わしい症状がある患者にのみ使用する
- ・検体の前処置をしっかりとトロミ（粘稠性）を取り除く（検体処理液中でのみほぐし）
- ・アラーム設定をして正確な時間で判定する
- ・判定時刻に携帯で写真撮影して後で判定
- ・拡大鏡（虫メガネ）を使うと判定しやすい（肉眼で見続けると錯覚で陽性線が見えることがある）
- ・偽陽性を疑ったら追加精密検査を待つて発生届を出す
- ・疫学情報（濃厚接触歴など）を参考に判定